



慶應義塾大学ビジネス・スクール

瀬名知良 (B)

5

— 『起業家精神』と『リーダーシップ』の行方 —

第1章 1年後

10

<教育の仕事>

株式会社イクエストの事業の整理から1年程経ったある日、瀬名が自宅のソファの上で本を読んでいると、携帯が鳴った。着信の画面には、面識のあった、ある経営大学院（MBA）の教授の名前が表示されていた。

15

昨年からの事情を、瀬名から聞いた教授は言った。

「そうでしたか。要するに、今は『充電中』ということですね。では来年度から、今までの経験をこちらの経営大学院（MBA）で教えてくれないか。教授会の承認を得る必要がありますが、以前、講座をやって頂いたこともありますよね。ですので、大丈夫だと思いますよ。」

20

起業家として、会社設立やベンチャー企業経営の実際、魅力や楽しさ、難しさや苦労など、起業してみても初めて見える景色を、MBA 学生に教えて欲しいとのことであった。

経営大学院はエリートの行くところというイメージを持っていた瀬名は、修士学位も無い自分が役に立っているのだろうか、と思った。しかし、事業を整理してからのこの1年、起業の成功や失敗の体験を、様々な経営学者の理論やフレームワークに重ねながら内省するうち、瀬名の心に、起業を目指す人へ伝えたいことが多く生まれていたのは確かだった。瀬名は教授に、「僕でお役に立っているのであれば、喜んで」と返事をした。

25

本ケースは実在の起業家から情報を得て作成した。本文中の人物名、会社名は仮名である。記載内容について起業家本人から了承を得ている。作成したのは高木晴夫、鶴ヶ谷理子、市村真納である。

本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールが出版するものであり、複製等についての問い合わせ先は慶應義塾大学ビジネス・スクール（〒223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉4丁目1番1号、電話 045-564-2444、e-mail: case@kbs.keio.ac.jp）。また、注文は <http://www.kbs.keio.ac.jp/> へ。慶應義塾大学ビジネス・スクールの許可を得ずに、いかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートでの利用、またいかなる方法（電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他種類を問わない）による伝送も、これを禁ずる。

30

Copyright © 高木晴夫、鶴ヶ谷理子、市村真納（2018年4月作成）